

# わらび WARABI

# 市議会

# だより

No.202  
2018・6

## 編集

蕨市議会広報広聴委員会  
TEL/048-433-7733  
FAX/048-432-7991  
Eメールアドレス  
gikai@city.warabi.saitama.jp



## 目次

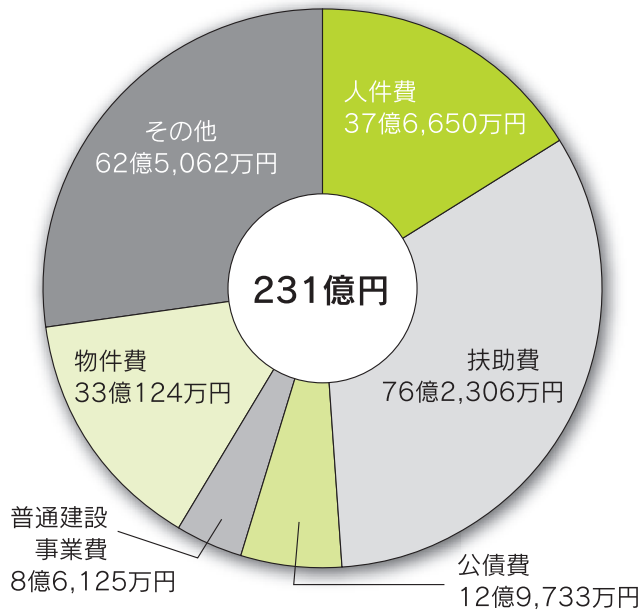
平成30年度予算を審議	P 2
3月定例会における議案審議結果	P 5
代表質問 各代表者が市政を問う	P 6
一般質問 14人の議員が登壇	P 8
意見書の提出・6月定例会の日程	P15
第3回議会報告会・編集後記	P16

## ご意見をお寄せください

今回の表紙写真は、5月13日に東公民館において開催した「議会報告会」の様子です。当日は57人の市民の方々が参加され、貴重なご意見をいただくことができました。市議会では、今後も引き続き、議会広報の充実に力を入れ、より開かれた議会を目指して活動していきます。

ぜひ、今後の参考のために市議会だよりについての感想やご意見をお聞かせください。

## 一般会計予算の性質別分類



- 人 件 費** 職員の給料や退職金など人にかかる経費
- 扶 助 費** 生活保護、医療費の助成など福祉・保健・医療にかかる経費
- 公 債 費** 借りたお金(市債)の返済金
- 普通建設事業費** 道路や公園、公共施設などの整備にかかる経費
- 物 件 費** 光熱水費、消耗品費、施設の管理などにかかる経費
- そ の 他** 補助費、貸付金、繰出金など

議案第25号  
平成30年度蕨市一般会計予算

## 平成30年度の予算を 審議しました

平成30年度の一般会計予算は231億円で対前年度比5億9,000万円の減となりました。

左の表は、一般会計予算を性質別に分類したものです。人件費、扶助費、公債費からなる「義務的経費」は、子育て支援等の扶助費の増などにより、前年度比4.9%の増となっています。また、「投資的経費」である普通建設事業費は、市民会館や市民体育館耐震補強等工事などの終了により、前年度比で54.2%の減となっています。

市議会では、平成30年度一般会計予算の議案について、総務・環境福祉経済・教育まちづくりの3つの常任委員会に付託し、詳細にわたり審査を行っています。そのうち、30年度のお金の使いみちとして、新規・拡充などの主な事業をピックアップしました。2、3ページで、各常任委員会の所管ごとに紹介いたします。

## 総 務 常 任 委 員 会



### 蕨駅ホームドア整備費補助金 740万円

31年度末までにホームドアが設置されます。2か年の補助金総額は1億2,000万円の見込み



### 新庁舎設計基本構想・基本計画の策定 1,347万9,000円

新庁舎建設の基本理念や庁舎の規模、機能などをまとめた基本構想・基本計画を策定します



### 消防署塚越分署の整備 3,889万円

現在地での建て替えに伴う工事設計を行うほか、市民公園管理棟内に仮設事務所を整備します



### 協働提案事業の実施 30万3,000円

協働提案事業として選定され、防災の知識について学ぶ「わらび防災大学校」を開催します

### 街なかAEDステーション事業 107万円

24時間営業をしているコンビニエンスストアとガソリンスタンドにAEDを設置します

### 自主防災会へのスタンドパイプ配備等 837万円

13の自主防災会にスタンドパイプを配備することで、すべての自主防災会への配備が完了します

### 「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの推進 628万1,000円

前期実現計画の終了に伴い、本市をとりまく諸情勢の変化に対応した5年間の後期実現計画を策定

### 収納対策の強化 538万9,000円

調査事務等を補助する臨時職員を増員するなど、歳入の確保及び収納率の向上を図ります



## 環境福祉経済常任委員会

### 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金 40万円

人と動物の調和のとれた共生社会を実現するため手術を受けさせた方に1頭5,000円の補助金を交付

### 「蕨ブランド」認定品の情報発信 93万3,000円

市内外のイベントへの出展やパンフレットの配布により、「蕨ブランド」をPRします

### がん検診受診率の向上 1億481万5,000円

各がん検診に要する委託料。乳がん検診の日数を増やして、受診率の向上を図ります

### 自殺対策計画の策定 256万4,000円

自殺対策基本法改正を受け、平成31年度から5年間の蕨市自殺対策計画を策定します



### 健康長寿蕨市モデル事業 445万9,000円

健康プロジェクトを発展させつつ、県の「コバトン健康マイレージ事業」に参加します



### 総合健康診査事業 6,808万円

胃部検査において、レントゲン検査のほかに、内視鏡検査も選択することが可能となります



### 小規模保育園の増設・運営 3億4,600万円

4月から塚越1丁目、錦町6丁目、北町1丁目に3園が新たに開園し、計11園の管理運営費



### 特別養護老人ホームの増設 340万円

市内4か所目の特別養護老人ホーム整備に向け、固定資産税及び都市計画税相当額を交付

## 教育まちづくり常任委員会

### 外国語教育等推進事業 2,510万1,000円

32年度から完全実施となる小学校の英語教科化へ向け、外国語指導助手5名を7名に増員します

### 小学校トイレの改修 3,600万円

教育環境の改善を目的として、30年度は、北・塚越小学校のトイレを改修します

### 音楽によるまちづくりの推進 321万円

蕨市民音楽祭をまちの活性化につながるイベントとして更に発展させ、「わら音」を推進します

### 図書館の耐震補強工事 2,590万円

図書館を安全に利用できるように耐震化工事を実施します。工事は9月から約3か月間の予定



### 蕨駅西口市街地再開発事業 9,180万円

再開発準備組合が実施する事業計画の作成に対して補助金を交付し、事業の推進を支援します



### 橋りょう改修工事 2,990万5,000円

橋りょう点検の結果を踏まえ、塚越陸橋など6橋分の補修等工事の設計を行います



### 公民館等エレベーター設置調査・設計 1,918万4,000円

中央公民館と西公民館へのエレベーター設置のための調査を行い、その後設計を行います



### 教育センターの充実 811万5,000円

教育センターを中央小学校に移転し、日本語指導や教職員研修の充実を図ります



# — 3月定例会 —

**平**成30年第1回定例会は、2月22日から3月23日までの30日間の会期で開催しました。

初日には、市長から施政方針表明が行われ、平成30年度予算を含む議案の説明がなされました。

3月1・2日には、蕨市議会として初めてとなる「代表質問」を実施し（6・7ページ参照）、引き続き議案に対する質疑を行いました。

6・7・8日には、総務・環境福祉経済・教育まちづくり常任委員会を開催しました。また、16・19・20日には、14名の議員が一般質問を行い、市政の重要課題を問いました。（8～15ページ参照）

最終日には、陳情1件が賛成多数で採択となり、すべての市長提出議案と1件の議員提出議案（15ページ参照）が可決・成立し、閉会しました。

## 平成30年度 一般・特別・企業会計予算

単位：千円

一般会計	23,100,000
国民健康保険特別会計	7,476,000
公共下水道事業特別会計	1,690,000
錦町土地区画整理事業特別会計	1,475,000
介護保険特別会計	5,128,000
後期高齢者医療特別会計	895,000
公共用地先行取得事業特別会計	47,000
病院事業会計(収益的支出)	3,302,787
水道事業会計(収益的支出)	1,322,922
合 計	44,436,709

◆**国民健康保険特別会計**  
40歳以上の被保険者を対象にした特定健康診査の費用と、その受診率を向上するための対策経費を計上しています。また、そのほか

◆**公共下水道事業特別会計**  
下水道管路長寿命化に向けた管路調査や、詳細計画に基づいた第1期改築工事の設計費用を計上しています。また、ポンプ場の維持管理や、流域下水道に要する事業費、管路整備費用などを計上しています。

平成30年度予算は、一般会計、特別会計（全6会計）、企業会計（全2会計）が原案のとおり可決され、蕨市全体の予算総額は、前年度比17億8千725万円減の44億3千670万9千円となりました。

◆**錦町土地区画整理事業特別会計**  
建物25棟分の移転補償金や、県送配水管の撤去費、仮設住宅の新築並びに改修費などを計上しています。

◆**介護保険特別会計**  
認知症初期集中支援チームを配置し、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、自立生活をサポートする費用を新たに計上しています。また、引き続き、県地域包括ケアシステムモデル事業として、「一地域ケア会議」を実施するための費用などを計上しています。

### ◆後期高齢者医療特別会計

被保険者証の郵送や保険料徴収などの経費をはじめ、埼玉県後期高齢者医療広域連合から受託して実施する健康診査の費用などを計上しています。

### ◆公共用地先行取得事業特別会計

中央第一地区まちづくり事業用地の先行取得費用や、測量及び鑑定に要する経費などを計上しています。

予算総額は44億3670万9000円

前年度比17億8725万円の減



## 平成30年3月定例会における議案等に対する賛否結果

議案番号	議案名	新生会	共産党	公明党	民進党	無所属	結果
陳情第1号	日本国憲法第九条の改正の発議について慎重に取り扱うよう求める陳情	×	○	○	○	○	採 択
議案第1号	蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	蕨市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	蕨市個人情報保護条例及び蕨市情報公開条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	蕨市職員退職手当条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	蕨市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	蕨市後期高齢者医療に関する条例及び蕨市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	蕨市総合社会福祉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	蕨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	蕨市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	蕨市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	蕨市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	蕨市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	蕨市保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	蕨市都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	蕨市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	蕨市国民健康保険財政調整基金条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	平成29年度蕨市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	平成29年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	平成29年度蕨市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	平成29年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	平成29年度蕨市介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号	平成29年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	平成29年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	平成30年度蕨市一般会計予算	○	○	○	退席	○	原案可決
議案第26号	平成30年度蕨市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	平成30年度蕨市公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	平成30年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号	平成30年度蕨市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	平成30年度蕨市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	平成30年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	平成30年度蕨市立病院事業会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第33号	平成30年度蕨市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	推薦
議案第35号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	推薦
議案第36号	和解について	○	○	○	退席	○	原案可決
議案第37号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第1号	日本国憲法第9条の改正の発議について慎重に取り扱うよう求める意見書	×	○	○	○	○	原案可決

※議案第1・18・26・29号については質疑が行われました。質疑の詳細な内容は蕨市ホームページ「ようこそ蕨市議会」の「録画放映」からご覧になることができます。

# 質 問

## ー代表質問とはー

一般会計当初予算案や市政全体にわたり質問をする制度です。各会派の代表者1名と、2人以上の会派に所属していない1人の議員についても、それぞれの持ち時間で質問ができます。

### 市民の暮らしは依然厳しいので「あったか市政」を更に推進すべき

**議員** 市長は施政方針で、景気回復の実感が持てないとの市民の声が大きいと述べた。今後その感覚を持って市民に寄り添う市政を進めてほしいと思うがどうか。

**市長** 市民の暮らしに直結する部分がどうなっているかというところが大事である。実質

日本共産党  
梶 原 秀 明



#### 市長の政治姿勢

**議員** 健康寿命を延ばすこと、②地域の支え合いを含めた包括的な体制をつくること、③元気な高齢者にまちづくりの担い手になっていただくこと、この3つの柱が大事だと考えている。健康長寿埼玉モデル事業では年200人前後の参加だったが、市のモデル事業では、

**市長** 超高齢化を見すえて①健康寿命を延ばすこと、②地域の支え合いを含めた包括的な体制をつくること、③元気な高齢者にまちづくりの担い手になっていただくこと、この3つの柱が大事だと考えている。健康長寿埼玉モデル事業では年200人前後の参加だったが、市のモデル事業では、

#### 介護・医療・健康

賃金、消費支出は低迷している。市民に寄り添う自治体の役割がますます大きくなっている。

#### 駅ホームドア

**議員** 昨年1月14日の蕨駅ホームでの転落事故を受け、当日と2月23日に、日本共産党衆議院議員（当時）と市議団で、JR東日本への改善申し入れをし、国会でも取り上げられた。ホームドア設置への対応はどのようか。

**総務部長** 市ではJRに対し早期設置を求めてきた。設置工事は当初の予定から1年前倒しとなり、平成30・31年度の2か年で行う。工事費概算は12億円で、JRへの補助金

#### 保育園・子育て

**議員** 保育園の入園希望状況等はどうか。保育士の確保状況や、保育・子育てコンシェルジュの役割はどうか。

**健康福祉部長** 一次受付での入園希望者数（小規模保育園含む）は418人（昨年比69人増）。うち不承諾者（希望がかなわない人）数は130人（同63人増）。非常勤保育士の賃金を4月から月額1千円上げ、19万6千円とするなど待遇改善をしているが、必要な保育士の確保は非常に困難な状況である。民間保育園も同様と聞いている。

#### 図書館の工事中の対応

**議員** 耐震化工事の日程と閉館中の対応はどうか。

**教育部長** 9月1日から11月末までの工事を想定し、その後、約10日間で開館準備をする。天井部分の工事であるため、一般書の利用はできないが、児童書は工事中も一部開館し、運営を予定している。また、約100冊の新刊雑誌を北町分館で閲覧できるよう検討している。

### 平成30年度の主要事業及び市民と行政が一体となったまちづくりの推進を

新生会  
小 林 利 規



#### 蕨駅へのホームドアの設置について

**議員** 蕨駅へのホームドアの早期設置は、議会として決議した案件でもあり、当初より1年前倒しの平成31年度末までの設置となった。今回の当初予算での計上は、今後速やかに工事に着手するための措置と考えるが、その積算根拠

#### 特別養護老人ホームの増設について

**議員** 平成31年2月に、中央7丁目にオープン予定である特別養護老人ホームの規模と内容についてはどのようか。

**健康福祉部長** 当施設は、社

#### 教育センターの中央小学校への移設について

**議員** 福祉・児童センターにある留守家庭児童指導室を中央小学校内に移設して、教育センターを既存の福祉・児童センター内で拡充するほうが市民目線で見れば自然なことだと考えるがどうか。

**教育長** 福祉・児童センターの集客室を毎週月・火・水の午前中に借りて日本語指導等を実施しているが、対象とな

#### 蕨駅西口市街地再開発事業の推進について

**議員** 蕨市の未来を見据えた一大プロジェクトである本事業において、公共公益施設はどのような検討が行われているのか。

**総務部長** 図書館や市立病院などの再整備・再配置のほか、市役所の窓口業務の一部を取り扱う行政センター、蕨の貴

#### 代表質問を総括して

**議員** 市民の皆さんのために働く市役所職員がさらに英知を結集し、失敗を恐れずにチャレンジしながら仕事に取り組んでほしい。市民と行政が一体となって、チームワークを更に高めて、まちづくりを進めていきたいと思います。

重な地域資源である河鍋曉斎記念美術館、図書館分館機能を備えた市民学習センター、市民ホールや書店の誘致などの施設を検討しており、引き続き本市の玄関口にふさわしい公共施設の整備に向け、検討を重ねていきたい。



# 代 表

## 痛みを伴う行財政改革に背を向ける 頼高市政に未来を託していいものか？

民進党 一 関 和 一

### 基本方針と重点施策について

**議員** 平成30年度予算編成上の基本方針と主な重点施策はどのようか。

**総務部長** 各事業の優先順位を厳しく選択し、最少の経費で最大の効果を上げることが前提とした施策・制度の抜本的な見直しを基本方針とし、将来ビジョンに掲げる6つの基本目標と推進プランに基づく施策の進捗に向けた取り組みや、超高齢社会への対応、蔵駅西口再開発、市庁舎の建て替えという蔵の未来に向けた3大プロジェクトを重点施策としている。

### 財源確保対策と施策の優先度について

**総務部長** 副市長の配置等については、適切な時期に適切に判断されるものと考えている。

**議員** 平成24年4月1日以降不在となつて副市長の選任の見通しは。

### 副市長について

**議員** 財源確保対策への取り組みと選択と集中の観点からの施策の優先度についてはどのようか。

**総務部長** 納税推進室に臨時職員を増員し、収納対策の強化を図るとともに、市有地の有効活用などの財源確保に努める。

## 平成30年度予算編成の内容と 市政運営の将来的な展望を問う！

公明党  
松 本 徹



### 予算編成方針について

**議員** 市民生活に対する安全・安心性を最優先し、高齢者や障害者、子どもたちが安心して暮らせる地域社会の実現を図るとともに、現実性、将来性に即した予算編成を大いに期待し、公明党蔵市議団は16項目に及び予算要望書を市長に提出した。30年度の予算編成に当たり、財政の現状はどのようになっているのか。

### 将来ビジョンの推進に向けた後期計画の策定

**議員** 26年度に策定した「コンパクトシティ蔵」将来ビジョンの前期実現計画が30年度で終了するため、後期ビジョンの策定に着手するようだが、

算編成に当たり、財政の現状はどのようになっているのか。  
**総務部長** 市税収入が増えているものの、景気は不安定要素も多く、歳入を取り巻く環境は楽観を許さない状況にある。また、公共施設の維持管理経費の増のほか、福祉施策などの経常的経費の増が続いており、財政の硬直化が懸念される。

### 市庁舎整備について

**議員** 平成28年6月定例会において「蔵市庁舎耐震化整備の早急な実施を求める決議」を全会一致で可決し、市の防災力の強化を図ることを強く求めてきた。蔵市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会の内容はどのようか。

その内容はどのようか。  
**総務部長** 取り組んできた施策の検証や新たな行政課題の把握などを行い、市民懇談会や市民意識調査の結果なども参考にして計画を作成したい。

### 市長の政治姿勢について

**議員** これまでの市政運営における反省と今後の抱負はどのようか。  
**市長** 将来ビジョンの前期実現計画の中で、まだ達成に至っていない課題が残されているので、引き続き全力を挙げていきたい。とりわけ30年度は、「安全・安心」「にぎわい」「みんなにわたるまちづくり」という重点事業と「超高齢化への対応」「駅西口再開発事業」「市庁舎の建て替え」という未来に向けた3大プロジェクトがあるので、引き続き市長として力を尽くしていきたい。

## ふるさと納税は経費がかかりすぎる

無所属 榎 本 和 孝

### ふるさと納税について

**議員** ふるさと納税の収支は。  
**総務部長** 平成27年度がプラス13万円、28年度がプラス357万円、29年度が見込みでマイナス675万円。

**議員** 平成30年度の見通しと今後の考え方は。  
**総務部長** 寄附収入を1千400万円と見込み、返礼品に420万円など、計645万4千円の経費を計上した。積極的にやるというより、何もしなければ他団体に税収が流出してしまうので、それを防ぐために今後も工夫してやっていく。

### 成年式発祥の地は？

**議員** 成年式の発祥が蔵ではないかという一部の報道があったが、市としての考えと今後の対応は。  
**教育部長** 1月8日の中日新聞にて、昭和8年に名古屋市の青年団主催で、徴兵検査を終えた男性を対象に成年式を行っていたという記事が掲載された。本市の成年式は終戦直後の混乱の中、昭和21年11月22日、当時の青年団が20歳を迎えた男女全員を対象に蔵町と共催したものである。本市としては、蔵が戦後の新しい形での成年式発祥の地であるという自負を持ち、今後本事業に取り組んでいく。